

今週（9月7日から9月11日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが強く、出会いの水準は0.977～0.978%が中心となった。加重平均レートは週を通して0.977%となり、本日も同水準での着地が見込まれる。

ターム物は、短い期間から長い期間まで幅広い引き合いが散見された。期内物では0.9%台後半から1.1%程度。期末越えでは1.3～1.4%程度の引き合いも見受けられた。

日銀当座預金残高は、週初は416兆円程度で始まり、その後は国債の発行などを受けたことで減少。9日には412兆円程度になり、本日も同程度での着地が見込まれる。

●債券レボ市場

今週の債券レボ市場GC T/N物の出会い水準は、概ね1.005%前後での推移となった。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。
9日に実施された6M物入札では、強めな結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。
11日に実施された3M物入札では、甘めな結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、石油・石炭製品や建設業、ゴム製品などの業態で大型発行が行われた。
市場残高は、週を通して25兆円台半ば近辺で推移した。
発行レートは、引き続き1.0%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/7 (月)	66,399.84	2.930	155.92	0.977	1.000	4,161,200
9/8 (火)	65,269.33	2.885	153.70	0.977	1.000	4,151,800
9/9 (水)	65,142.78	2.880	153.72	0.977	1.000	4,116,600
9/10 (木)	65,270.95	2.909	153.66	0.977	1.000	4,127,100
9/11 (金)	64,011.34	2.985	154.59	0.977	1.000	4,117,300

翌週（9月14日から9月18日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/14 (月)	*営業毎旬報告(日銀 10:00)		
9/15 (火)		20Y物 9/16発行 7,000億円	*米FOMC(1日目) *9月の米NY連銀製造業景気指数
9/16 (水)	*8月の貿易統計(財務省 8:50) *7月の機械受注(内閣府 8:50) *8月の業態別日銀当座預金残高(日銀 17:00)	TDB1Y物 9/24発行 25,000億円	*8月の米小売売上高 *米FOMC(2日目・経済見通し) *7月の対米証券投資
9/17 (木)	*日銀金融政策決定会合(1日目) *4-6月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) *実質輸出入の動向(日銀 16:00頃)	TDB3M物 9/24発行 35,000億円	*8月のユーロ圏消費者物価指数改定値 *英中銀MPC(政策金利発表) *8月の米住宅着工件数
9/18 (金)	*日銀金融政策決定会合(2日目) *8月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) *日銀総裁定例記者会見(15:30)		*8月の米鉱工業生産 *8月の米景気先行指標総合指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/14 (月) 日銀予想	▲ 200	13,600	13,400	国債補完供給 貸出増加支援	300 ▲ 34,400		▲ 34,100	▲ 20,700	TDB3M発行▲35,000 償還41,000 源泉税揚げ
9/15 (火) 弊社予想	▲ 300	▲ 9,000	▲ 9,300				0	▲ 9,300	
9/16 (水) 弊社予想	▲ 100	▲ 7,000	▲ 7,100	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 15,100	20Y発行▲7,000
9/17 (木) 弊社予想	300	0	300				0	300	
9/18 (金) 弊社予想	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、概ね0.977%程度での推移が予想される。ターム物については、日銀政策決定会合や9月末を越える物は、さらにレートが引き上げられるとみられる。債券レポ市場は、GC T/N物のレートは0.99～1.01%程度の水準で推移することが見込まれる。短期市場は、16日(水)に1Y物、17日(木)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、会合を控えており、レート水準や発行残高の動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では17-18日に日銀金融政策決定会合、14日(月)に営業毎旬報告、16日(水)に8月の貿易統計、7月の機械受注、8月の業態別日銀当座預金残高、17日(木)に4-6月期の資金循環統計速報、実質輸出入の動向、18日(金)に8月の全国消費者物価指数などが公表予定である。海外では15-16日にFOMC、15日(火)に9月の米NY連銀製造業景気指数、16日(水)に8月の米小売売上高、17日(木)に8月のユーロ圏消費者物価指数改定値、英中銀MPC、8月の米住宅着工件数、18日(金)に8月の米鉱工業生産、8月の米景気先行指標総合指数などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入